住宅改修が必要な理由書

(P2)

〈P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改善目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。〉

活動	①改善しようと	② ①の具体的な困難な状況(··なの で ··で困っている)を記入してください■	③改修目的·其	明待効果をチェックした上で、 :で ・・が改善できる) を記入してください ■	④改修項目(改修箇所)
排泄	□トイレまでの移動 □トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ■便器からの立ち座り(移乗を含む) ■衣服の着脱 ■排泄時の姿勢保持 □後始末 □その他()	便座からの立ち上がりや衣服の着脱の際に、 支持するところがなく、介助が必要な状況で ある。 改善しようとしている生活動作について、具体 的にご記入ください。	■できなかったことをできる ようにする ■転倒等の防止、安全の確保 ■動作の容易性の確保 ■利用者の精神的負担や 不安の軽減 ■介護者の負担の軽減 □その他()	①便器脇にL字手すりを設置することにより、便座からの立ち上がりを容易にする。また、手すりがあることで、衣服の着脱や排泄時の姿勢が安定する。 改修箇所ごとに理由が必要です。記載漏れのな	●手すりの取付け (トイレL字手すり) ① 見積もりや写真と突合しやすいよう、改修箇所ごとに番号をつけていただくようお願いします。
入浴	■浴室内での移動(立ち座りを含む) □洗い場での姿勢保持	動作が不安定なため、浴室扉(開き戸)の開 閉時にふらつきがあり転倒の危険性がある。 一部家族による介助のもと入浴しているが、 洗い場が狭く、移動時共に転倒しないか不安 である。	■できなかったことをできるようにする ■転倒等の防止、安全の確保 ■動作の容易性の確保 ■利用者の精神的負担や 不安の軽減 ■介護者の負担の軽減 □その他()	いようにご注意ください。 ②扉を開き戸から折れ戸にすることにより、 扉開閉時の転倒の危険を減らす。また、介護 者が介護しやすくなる。	■段差の解消 (玄関)③ ■引き戸等への扉の取替え
外出	山出入口の出入 (二 - 8888 た A L)	上がりかまちの段差が約20cmあり、掴まる場所もないため、昇降時に躓いて転倒することがある。転倒により骨折したこともあり、外出するのが億劫になっている。	□できなかったことをできる ようにする ■転倒等の防止、安全の確保 ■動作の容易性の確保 ■利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他()	③上がりかまちに踏み台を設置することにより、転倒を防止し、安心して外出できるようにする。	(浴室 開き戸から折れ戸へ)② □便器の取替え ■滑り防止等のための床材の変更
その他の活動	上記以外の生活動作(屋内移	日中の大半を居室(リビング)で過ごしている。室内を移動する時に、畳に足を引っかけ て転倒しそうになることがある。	□できなかったことをできる ようにする ■転倒等の防止、安全の確保 ■動作の容易性の確保 ■利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他(④居室の床材を畳からフローリングに変更することで、転倒を防止することができる。	(居室)④□その他